

2025 年度（対象年度：2024） 自己点検・評価シート

基準 1 理念・目的

■事前確認

前年度の自己点検・評価シートから、伸長・改善計画、評価結果の課題事項（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】）を転記していますので、確認してください。

認証評価結果において、大学基準協会から指摘された事項について確認してください。

<前年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
101	団体での新入生本願寺行事は実施せず、学生が「仏教の思想」の授業において龍谷ミュージアムを訪問することにあわせ、本願寺を訪問するように変更することとした。後期の実施に向けて、学生の協力を得てコンテンツの作成を進める。

<前年度の評価結果（課題事項）>

課題事項
なし

<【参考】2020 年度 認証評価結果における指摘事項>

総評における助言 / 是正勧告 / 改善課題
なし

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「S」「A」「B」「C」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目<大学基準協会の「評価項目」に相当> 点検項目（評価の視点）<大学基準協会の「評価の視点」に相当>	自己評価（現状）
101	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定し、公表しているか。 大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける大学の目的及び学部・研究科における教育研究上の目的を明らかにし、教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表しているか。 ①建学の精神の設定とその内容 ・目指すべき方向性 ・育成する人間像	A

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。
101 建学の精神を以下のとおり公開している。 ・ホームページ（日本語 101 ア）、（英語 101 イ）、（中国語 101 ウ） ・新入生に配布する冊子「龍大ははじめの一步」（日本語、英語、中国語）（101 エ）

・学生手帳（101 オ）、出講手帳（101 カ）、一般向け大学案内誌（101 キ） ・深草学舎顕真館前および瀬田学舎樹心館前（101 ク） 建学の精神にもとづいた教育理念・目標を定め公表している。（101 ケ）	
長所・特色《箇条書き》＊先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの、他の組織の範となるもの、自己評価・現状「S」のもの	
No.101	建学の精神に根ざした法語をキャンパスの各所に掲示している（一部 QR コードあり）（101 コ）
課題事項《箇条書き》 ＊伸長すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み ＊成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
新入生のオリエンテーション期間中の本願寺団体拝観に代えて、必修科目「仏教の思想」と協力し、龍谷ミュージアムの参観にあわせて各自が本願寺を訪問し、スタンプを押印して提出することとして後期から実施した。またこれにあわせて、本願寺や龍谷大学の歴史に関心を持ってもらうための動画を作成した。（101 サ①②）	
法要や講演をオンライン配信するにあたり、法話者や講演者の保護を目的として「宗教部における法要・講演等の動画配信に関する内規」を制定し施行した。（101 シ）	
仏教活動奨励金について、「伝道部の朝法話」、「関西レインボーフェスタ出展」、「東京レインボープライド出展」の企画に助成し、学生活動の実施をサポートした。（101 ス）（101 セ）	
建学の精神の具現化を目的としたオンラインプログラム「現代的課題と建学の精神プログラム」を実施した。（101 ソ）	
建学の精神に根ざした平和への活動として「いのちと平和を考える特別公開講演会：歴史の忘却に抗してー ガザのジェノサイドと私たち」を開催し、冊子「白色白光」に掲載した。（101 タ）	

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
101	ア イ ウ	龍谷大学建学の精神 （日本語） https://www.ryukoku.ac.jp/about/outline/spirit.html （英語） https://www.ryukoku.ac.jp/english2/about/e_spirit.html （中国語） https://www.ryukoku.ac.jp/chinese2/about/spirit.html
101	エ	新入生向け冊子「龍大はじめの一步」 https://www.ryukoku.ac.jp/shukyo/know/
101	オ	学生手帳（建学の精神）
101	カ	出講手帳（建学の精神）

101	キ	大学案内 2024_日本語版
101	ク	建学の精神揭示
101	ケ	教育理念・目標
101	コ	法語揭示
101	サ①	2024 年度「仏教の思想」科目担当者会議資料_一式
101	サ②	西本願寺へ行ってみよう（動画） https://youtu.be/geWsy0FkiDk
101	シ	宗教部における法要・講演等の動画配信に関する内規
101	ス	2024 年度朝の伝道部法話
101	セ	東京レインボープライド報告書
101	ソ	現代的課題と建学の精神プログラム 2020-2024
101	タ	特別公開講演会「歴史の忘却に抗してー ガザのジェノサイドと私たち」 https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-15765.html

II. 評価結果

総評
新入生に対するオリエンテーションにおける西本願寺訪問だけでなく、全学必須科目である「仏教の思想」の講義の中で、龍谷ミュージアムの訪問と合わせての西本願寺への参拝をすることや、動画を作成するなど、大学の理念を周知しようという活動がされており、評価できる。 また、その他においても、目的達成に向け活発な活動が行われている。
長所・特色
なし
課題事項 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載
なし

2025 年度（対象年度：2024） 自己点検・評価シート

基準1 理念・目的

■事前確認

前年度の自己点検・評価シートから、伸長・改善計画、評価結果の課題事項（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】）を転記していますので、確認してください。

認証評価結果において、大学基準協会から指摘された事項について確認してください。

<前年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
101①	「3つの方針検証委員会」および「大学院教学会議」を中心とした教育活動の検証・改善体制のもとでの継続的な確認、見直し

<前年度の評価結果（課題事項）>

課題事項
なし

<【参考】2020 年度 認証評価結果における指摘事項>

総評における助言 / 是正勧告 / 改善課題
なし

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「S」「A」「B」「C」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目<大学基準協会の「評価項目」に相当> 点検項目（評価の視点）<大学基準協会の「評価の視点」に相当>	自己評価（現状）
101	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定し、公表しているか。 ①大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける大学の目的及び学部・研究科における教育研究上の目的を明らかにし、教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表しているか。	A

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。
101① 建学の精神と関連した「龍谷大学の教育理念・目的」を設定している [101 ア]。大学の教育理念・目的と学部・研究科の教育理念・目的の関連性を担保するため、「学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針（「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受け入れの方針」）策定にかかる基本方針を設定している [101 イ]。各学部・研究科では、これら方針に基づき、学部・研究科単位で、人材育成その他の教育研究上の目的を示した「教育理念・目的」を設定し、そのもとに3つの方針を定めている。 「教育理念・目的」は、学部において学部単位で、短期大学部及び大学院研究科においては、学科（専

攻) 単位で学則に明示している [101 ウ・エ・オ]。

また、教育理念・目的等については、各学部・研究科の履修要項 [101 カ・キ] や学生手帳 [101 ク]、出講手帳 [101 ケ]、大学ホームページ [101 コ] で明示しており、教職員・学生や対外的にも適切に公表している。周知の方法については、教員については年度始めの教授会や研究科委員会において、学生に対しては履修登録説明会等でなされている。

「教育理念・目的」については、「教育理念・目的」、「学位授与の方針」、「学生に保証する基本的な資質・能力」、「教育課程編成・実施の方針」「入学者受け入れの方針」と合わせて、「3つの方針検証委員会」および大学院教学会議において、全学的な見地からの確認及び修正を行っている [101 サ・シ]。

以上のことから、大学の理念・目的を踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定、公表していると評価する。

長所・特色《箇条書き》*先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの、他の組織の範となるもの、自己評価・現状「S」のもの

101① 「教育理念・目的」については、履修要項・学生手帳・出講手帳・大学 HP など多様な方法で公表し、年度始めの教授会や研究科委員会等で確認している。

課題事項《箇条書き》*伸長すべき点、改善すべき点

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み *成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない

101① 学部・研究科の「教育理念・目的」については、毎年度初めの教授会等で変更の有無について確認がなされ、適切性が確認されている。また、「教育理念・目的」等の変更にあたっては、媒体間で齟齬が生じないよう、教学部及び当該学部・研究科が連携し、学部については履修要項の共通原稿を作成するなどして確認を行っている。

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
101①	「3つの方針検証委員会」および「大学院教学会議」を中心とした教育活動の検証・改善体制のもとでの継続的な確認、見直し

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
101	ア	龍谷大学の教育理念・目的 https://www.ryukoku.ac.jp/about/philosophy/index.html
101	イ	学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針（「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受け入れの方針」）策定の基本方針 https://www.ryukoku.ac.jp/about/philosophy/index.html
101	ウ	龍谷大学学則（抜粋）
101	エ	龍谷大学大学院学則（抜粋）
101	オ	龍谷大学短期大学部学則（抜粋）
101	カ	2024 年度 各学部履修要項 https://cweb.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/rishu.html

101	キ	2024 年度 各研究科履修要項 https://cweb.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/rishu.html
101	ク	2024 年度学生手帳
101	ケ	2024 年度出講手帳
101	コ	大学の教育理念・目的、学部・研究科の「教育理念・目的」 https://www.ryukoku.ac.jp/about/philosophy/index.html
101	サ	2024 年度第 3 回 3 つの方針検証委員会資料
101	シ	2024 年度第 10 回大学院教学会議資料

Ⅱ. 評価結果

総評
本学は、大学の理念・目的を踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定、公表していると評価できる。また「教育理念・目的」等の変更にあたっては、媒体間で齟齬が生じないよう、教学部及び当該学部・研究科が連携し、学部については履修要項の共通原稿を作成するなどして確認を行っていることは評価できる。
長所・特色
課題事項 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載